

横浜市政記者、横浜ラジオ、テレビ記者 各位

「港北区民の暮らしの課題は・・・」



港北区暮らしの課題調査の結果発表

港北区では、“区役所は顧客である区民を対象とするサービス業である”ことをふまえ、「区民ニーズの的確な把握」「区役所職員の人材育成」「区民の力が生きる区政運営」を基本理念として区政運営に取り組んでいます。その中で今後の区政運営と、現在策定中の港北区地域福祉保健計画の基礎資料とするため、昨年11月に調査を実施しました。

調査は、区内在住の18歳以上3,000人を対象に53.6%にあたる1,609人の方から回答をいただきました。

このたび、調査結果がまとまりましたので、お知らせします。

<主な調査結果から>

- (1) 暮らしの中で重要な課題は「防犯対策」(44.4%)、「病院など地域医療」(41.6%)、「地震災害対策」(34.9%)、「高齢者福祉」(31.1%)。ただし地域別で見ると順位に違いが見られる。
- (2) 68.3%が治安が悪く感じており、行っている防犯対策は「戸締り程度」83.0%、「自宅の防犯対策」41.5%と続く。「隣近所の声かけなどの連帯や協力」は20.2%。
- (3) 自治会・町内会への加入理由の1位は「加入は義務と考えるから」58.2%。逆に未加入理由の1位は「活動内容がよく分からない」46.9%。
- (4) 広報よこはま こうほく区版は74.1%の方によく読まれている。特に「女性」と「60歳以上」の方によく読まれている。
- (5) ごみの分別収集の拡大に対して82.0%が「出来そう」と答えている。
- (6) 子どもによく声をかける区民は24.7%。近隣の人へよく声をかける区民は38.1%。
- (7) 他世代との交流、障害者との交流機会は少なく、交流が「全くない」と答えている人がそれぞれ40.7%、60.9%。

調査概要

- (1) 調査対象 区内在住の満18歳以上の3,000人(住民基本台帳から無作為抽出)
- (2) 調査方法 郵送配付、郵送回収
- (3) 調査期間 平成16年11月17日から12月8日
- (4) 回収結果 有効回答数1,609人(有効回答率53.6%)

今回の調査の特色

- ・平成16年度市民意識調査で港北区民が「行政が充実すべき課題」とした上位15項目から暮らしの中の重要な課題を選択してもらいました。
- ・そのほか、防犯、ごみ、自治会・町内会、地域福祉保健などについての項目を設けました。
- ・各設問について13の地域(連合町内会別)にわけ、地域特性についても分析しました。

〔別添資料〕・暮らしの課題上位5位(区全体・地域別)

- ・広報よこはま こうほく区版4月号
- ・港北区暮らしの課題調査報告書(概要版)

- 1 港北区のホームページにて掲載します。(3月31日(木)から) <http://www.city.yokohama.jp/me/kohoku/>
- 2 報告書は3月30日(水)から区内地区センターおよび区役所区政推進課にて閲覧できます。